

「らいらっく」と「さんふらわあかむい」の船旅

2025.5.31 池田良穂

5月に北海道に行くことになりました。目的は、関西室蘭会会長として室蘭市にお礼のご挨拶をすることと、札幌で開催の北海道クルーズ振興協議会の総会に出席すること、そして私事になりますが亡くなった兄の仏壇にお線香をあげることでした。

北海道内の移動の便も考えて愛車で行くこととして、往路は新日本海フェリーの「らいらっく」、復路は商船三井さんふらわあの「さんふらわあかむい」に乗船しました。

「らいらっく」は、週に1便ですが、敦賀を朝9時半に出港して、新潟、秋田に寄港して苫小牧東港に行く便があり、この便だと丸々2日間にわたる昼の日本海～太平洋の航海が楽しめ、グリルではクルーズ客船並みの食事ができることで、船ファンにとっては隠れた人気コースです。これまで北海道に行く時に新日本海フェリーを利用する時には、いつもは直行便の高速フェリーを利用しており、寄港便には初めての乗船でした。グリルでのサービスのパンフレットを別に添付します。

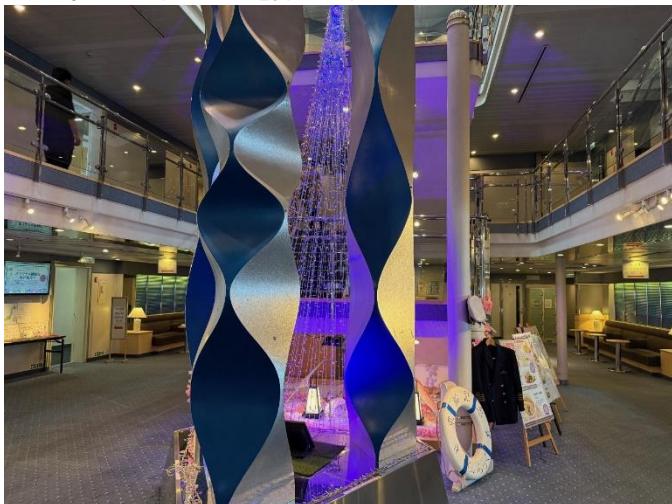
帰りの「さんふらわあかむい」は、本会会誌の最新号でも紹介したように、内海造船で建造された最新鋭のLNG燃料船です。苫小牧港を深夜1時半に出港して、同日の夜には大洗に到着するという深夜便に就航しており、トラックおよびシャーシーの無人航走をメイン顧客にしており、船内にはレストランではなく、自動販売機で買った冷凍食品をレンジで温めて食事をするというタイプの船です。

両船の船旅については、7月発行予定のCruise & Ferry41号で詳しく紹介しますが、一足早く、写真での速報をお届けします。

「らいらっく」 敦賀⇒新潟⇒秋田⇒苫小牧東港



月曜の早朝 5 時半に敦賀港に着岸する「らいらっく」の姿です。ブリッジの下の船首部の窓が鉄板で覆われてお
り、冬季の波の打ち込みを防ぐ対策のようです。



3 層吹き抜けのロビーです



能登半島沖で僚船「すずらん」と反航しました。手前に写るのは水産大学校の練習船「天鷹丸」です。



夜に新潟港に寄港しました。



新潟港で下船する乗用車の列です。20台ほどの乗用車、30~40台ほどの商用車が下船しました。船長のお話によると、最近は敦賀～新潟間に乗船する観光バスも増えているとか。新しい観光需要も生まれているようです。



秋田には早朝に寄港。雨の中を出港してしばらくすると、秋田港に向う僚船の「ゆうかり」と反航しました。



秋田を出港して 3 時間ほどで雨も上がり、全て灰色の貨物船「第 38 正栄丸」を追い抜きました。



津軽海峡通過時には大型コンテナ船「MSC クリストイン」と反航。雨上がりの靄のため視界はよくありませんでした。



続いて台湾の YANG MING 社の大型コンテナ船「YM ウエルカム」と反航しました。国際海峡である津軽海峡は、北米から韓国、中国の港に向う大型コンテナ船が頻繁に通り抜けていきます。



津軽海峡の東端に聳える恵山と恵山岬です。太平洋の入口で、右側は噴火湾の入口です。



苫小牧東港の港口で、コンテナターミナルでは 3 隻のコンテナ船が荷役中でした。



新日本海フェリーのターミナルの向かいにある火力発電所では、日本郵船の石炭船「ぴりかもしり丸」が荷役していました。アイヌ語の船名で、船籍港は苫小牧でした。



北海道に上陸すると、船名の由来である「らいらっく」が花盛りでした。

「さんふらわあ かむい」 苫小牧→大洗



苫小牧港に停泊中の「さんふらわあ かむい」。荷役の始まる直前の撮影です。



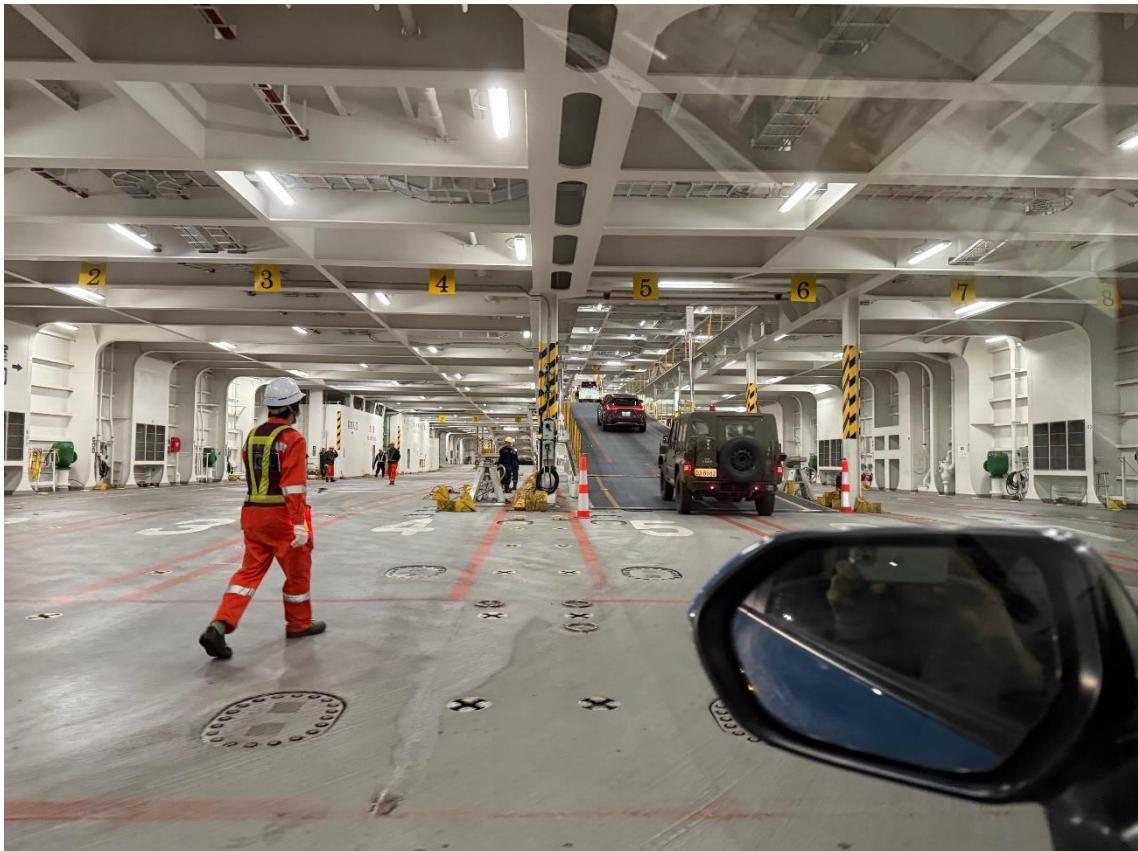
ターミナル内の商船三井さんふらわあの受付カウンターです。22時半までには乗船手続きをするようにとのことでした。



大洗行きの車両駐車場です。乗船は23時から始まりました。



乗用車は、船首右舷のランプウェイからの乗船でした。乗車する車の助手席からの撮影です。



船内ランプウェイを 2 段上がって、旅客甲板にある乗用車専用デッキに向います。



乗用車専用甲板です。



乗用車専用車両甲板から客室スペースにすぐに移動できました。



客室スペースを進むとロビーにでました。



ロビーの周辺には、右舷左舷共に窓側に向いた席がたくさん用意されており、昼間の航海が存分に楽しめます。



運動施設もありました。



各種の冷凍食品が自動販売機で購入でき、電子レンジで温めて、ロビー内のテーブル席で食事ができます。アルコールを含めた飲み物も自動販売機で購入できました。



展望浴場もあります。



夕刻、「さんふらわあかむい」は、名古屋に向う太平洋フェリーの「きそ」の前を斜めに横断して、本州の陸岸に近く航路にシフトして大洗港へと向かいました。低気圧の影響で海上はかなりの荒れで、船は大きく揺れ、船内の内装材がぎ一ぎ一と鳴り続けました。AISでは、「クイーン・エリザベス」、「いしかり」も近くを走っているようでしたが、天候が悪く、しかも距離もあったので写真撮影はできませんでした。この「きそ」の写真が唯一の船舶写真となりました。